

第14期末（2022年7月22日）

基準価額	18,086円
純資産総額	32百万円
騰落率	5.8%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ高金利国債券ファンド (1年決算型)

【愛称】スリーポイント（1年決算型）

追加型投信／海外／債券

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2021年7月27日～2022年7月22日

第14期（決算日 2022年7月22日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ高金利国債券ファンド（1年決算型）」は、このたび第14期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ高金利国債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、信用力が高く、相対的に高金利の先進国の国債等に実質的に投資することにより、安定した配当等収益の確保および信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2021年7月27日～2022年7月22日

## 基準価額等の推移



第14期首	17,089円	既払分配金	0円
第14期末	18,086円	騰落率 (分配金再投資ベース)	5.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

### < 上昇要因 >

- ・2021年9月下旬から10月下旬にかけて、米金利の上昇や原油価格の上昇を背景にカナダ・ドルやノルウェー・クローネなどの資源国通貨を中心に投資国通貨が対円で上昇したこと
- ・2021年12月上旬から1月上旬にかけて、新型コロナウイルスの新たな変異型（オミクロン型）への過度な懸念が後退し、リスク選好度が高まったことで投資国通貨が対円で上昇したこと
- ・2022年3月中旬から4月中旬にかけて、物価上昇懸念を背景に今後の利上げ幅が大きくなるのではないかとの思惑から米金利が上昇したことを受けて、米ドル高となり投資国通貨が対円で上昇したこと

### < 下落要因 >

- ・2021年10月下旬から12月上旬にかけて、オミクロン型の感染拡大により投資家のリスク回避姿勢が強まり、投資国通貨が対円で下落したこと
- ・2022年1月に米連邦準備制度理事会（FRB）のテーパリング（量的金融緩和の段階的縮小）への思惑やオミクロン型への懸念が後退したことで投資国金利が上昇（債券価格は下落）したこと
- ・2022年4月下旬から5月上旬にかけて、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、0.5%の利上げと保有資産縮小の開始を決定したことを受けて、投資国金利が上昇したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	206円	1.197%	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,216円です。
(投信会社)	( 84)	(0.490)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(112)	(0.653)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 9)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	4	0.022	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 2)	(0.010)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	210	1.218	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

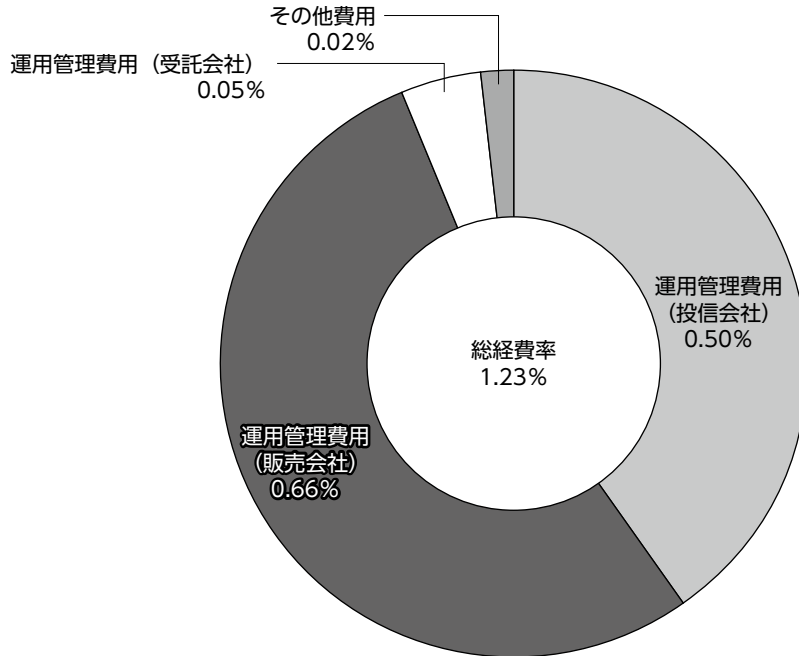
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

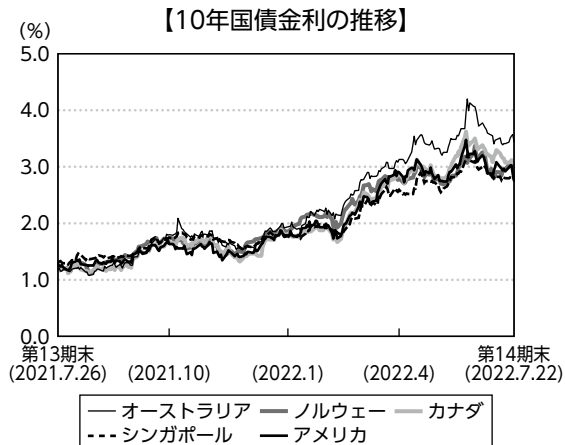
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

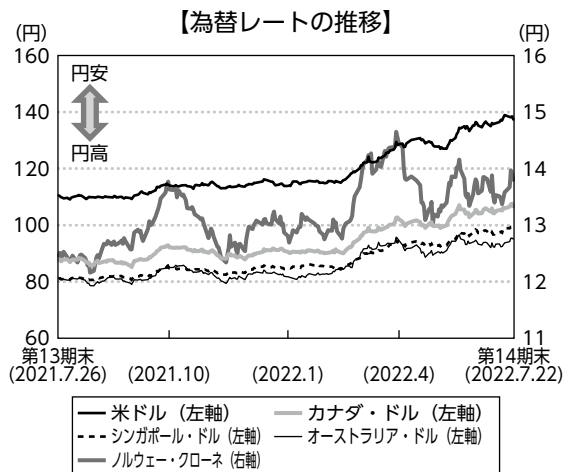
## 投資環境

## ■ 海外債券市況



(注) 10年国債金利はブルームバークのデータを使用しています。

## ■ 為替市況



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

投資国10年国債金利は期を通じて見ると、オーストラリア、ノルウェー、シンガポール、アメリカ、カナダともに上昇しました。

期初から2021年10月にかけて、堅調な米景気指標を背景に主要国の金利は上昇基調となりました。11月から12月にかけてはオミクロン型の感染拡大を受け、投資家のリスク回避姿勢の高まりから金利は一時低下に転じましたが、2022年6月中旬にかけて物価上昇懸念を背景に今後の利上げ幅が大きくなるのではないかとの思惑から上昇基調となりました。その後、当期末にかけては主要国の急速な利上げとそれに伴う景気減速懸念を受けて、金利は低下しました。

投資国通貨は期を通じて見ると対円で上昇しました。

期初から2021年9月にかけては、おおむね横ばい圏での推移となりましたが、10月下旬にかけては原油価格の上昇を背景に資源国通貨を中心に上昇しました。その後はオミクロン型の感染拡大懸念やその後退を受けて上下しつつ、おおむね横ばい圏での推移となりました。2022年3月から6月上旬にかけては、主要国中央銀行が利上げを決定した一方で、日銀が大規模金融緩和政策を維持したことから、金融政策の方向性の違いが意識され、投資国通貨は対円で上昇基調となりました。その後、軟調な商品市況や主要国の急速な利上げとそれに伴う景気減速懸念を受けてそれまでの上昇幅を縮小したものの、6月中旬から当期末にかけては日本と主要国中央銀行における金融政策の方向性の違いが改めて意識され、投資国通貨は対円で上昇しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている A A 格相当以上の格付が付与された国の中で、相対的に金利水準の高い 3 カ国程度の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に留意した運用を行いました。

投資国については、期初はシンガポール、オーストラリア、ノルウェーの 3 カ国としていましたが、2021 年 9 月にオーストラリアからカナダへ、11 月にはカナダからオーストラリアへ入れ替えを行いました。12 月にはノルウェーからカナダへの入れ替えを行うと同時に、オーストラリアの構成比率を引き上げ、シンガポールを引き下げました。2022 年 1 月にはカナダからノルウェーへの入れ替えを行い、その後は金利水準の変動に伴い 4 月にノルウェーからアメリカ、シンガポールからカナダへの入れ替えを行いました。当期末時点では、組入比率の高い順にオーストラリア（39.1%）、カナダ（30.3%）、アメリカ（29.4%）としています。

また、組入債券の平均格付は期初以降、「A A A 格」を継続していましたが、2022 年 5 月から「A A 格」となりました。

（注 1）F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

（注 2）比率は対純資産総額比です。

（注 3）格付は、ムーディーズ社、S & P 社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

## ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、信用力が高く、相対的に金利水準の高い国の国債等を投資対象とし、流動性・投資環境等を考慮して組入国や組入比率の変更を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2021年7月27日～2022年7月22日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,292円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に信用力が高く、相対的に高金利の先進国の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努めます。

### ■マザーファンド

F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されているA A 格相当以上の格付が付与された国の中で、相対的に金利水準の高い3カ国程度の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努めます。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第14期末 2022年7月22日
ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

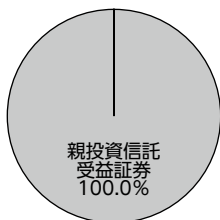
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

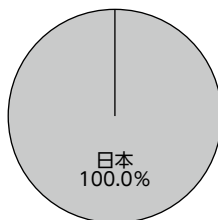
項目	第14期末 2022年7月22日
純資産総額	32,114,076円
受益権総口数	17,755,862口
1万口当たり基準価額	18,086円

(注) 当期間中における追加設定元本額は3,783,130円、同解約元本額は6,228,575円です。

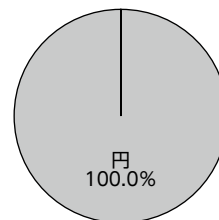
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分

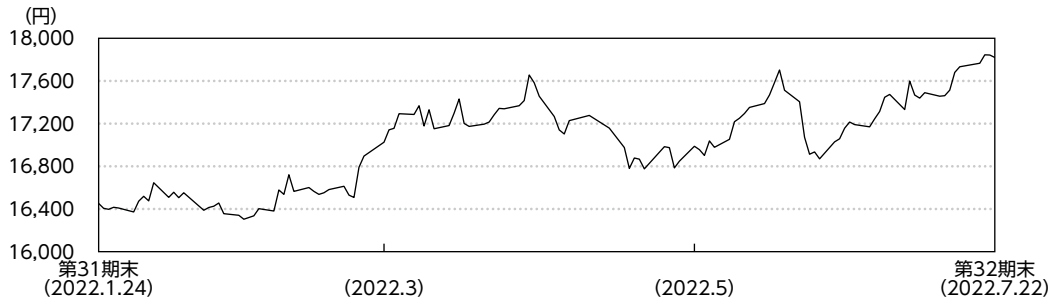


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2022年7月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。



## ニッセイ高金利国債券マザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

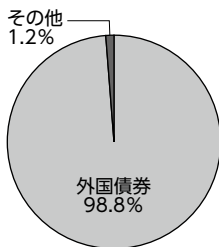
銘柄名	通貨	比率
TREASURY CORP VICTORIA 1.5% 2030/11/20	オーストラリア・ドル	7.8%
TREASURY CORP VICTORIA 5.5% 2026/11/17	オーストラリア・ドル	6.9
NEW S WALES TREASURY CRP 4.0% 2026/5/20	オーストラリア・ドル	6.6
TREASURY CORP VICTORIA 5.5% 2024/12/17	オーストラリア・ドル	6.0
CANADIAN GOVERNMENT 0.25% 2026/3/1	カナダ・ドル	5.1
CANADIAN GOVERNMENT 1.25% 2027/3/1	カナダ・ドル	5.1
US TREASURY 1.875% 2027/2/28	米ドル	5.0
CANADIAN GOVERNMENT 0.75% 2024/10/1	カナダ・ドル	5.0
US TREASURY 1.75% 2029/11/15	米ドル	4.9
TREASURY CORP VICTORIA 4.25% 2032/12/20	オーストラリア・ドル	4.8
組入銘柄数		26

### ■ 1万口当たりの費用明細

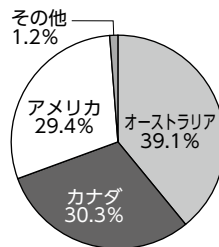
2022.1.25~2022.7.22

項目	金額
その他費用 (保管費用)	1円 (1)
(その他)	(0)
合計	1

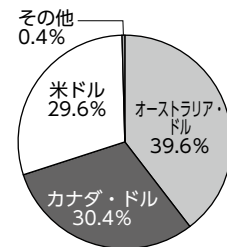
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2022年7月22日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## ニッセイ高金利国債債券ファンド（1年決算型）

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
10期(2018年7月23日)	15,189	0	△2.7	15,229	97.8	54
11期(2019年7月22日)	15,379	0	1.3	15,419	98.3	56
12期(2020年7月22日)	16,828	0	9.4	16,868	98.2	32
13期(2021年7月26日)	17,089	0	1.6	17,129	98.4	34
14期(2022年7月22日)	18,086	0	5.8	18,126	98.8	32

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券
			組入比率
	円	%	%
(期首)2021年7月26日	17,089	-	98.4
7月末	17,114	0.1	98.5
8月末	17,110	0.1	98.4
9月末	16,956	△0.8	99.1
10月末	17,511	2.5	98.8
11月末	16,842	△1.4	98.7
12月末	17,313	1.3	98.9
2022年1月末	16,713	△2.2	98.6
2月末	16,706	△2.2	98.5
3月末	17,656	3.3	98.1
4月末	17,535	2.6	98.2
5月末	17,506	2.4	98.5
6月末	17,721	3.7	98.8
(期末)2022年7月22日	18,086	5.8	98.8

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## ニッセイ高金利国債債券ファンド（1年決算型）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

2021年7月27日～2022年7月22日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	千口 3,869	千円 6,464	千口 6,603	千円 11,192

(注) 単位未満は切り捨てています。

### 利害関係人との取引状況等

2021年7月27日～2022年7月22日

当期における利害関係人との取引はありません。

### 親投資信託残高

2022年7月22日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	千口 20,755	千口 18,021	千円 32,115

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ高金利国債債券マザーファンド全体の口数は13,055,724千口です。

### 投資信託財産の構成

2022年7月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	千円 32,115	%
コール・ローン等、その他	194	0.6
投資信託財産総額	32,309	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル137.34円、1カナダ・ドル106.63円、1オーストラリア・ドル95.03円、1ユーロ140.13円です。

(注2) ニッセイ高金利国債債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（23,168,854千円）の投資信託財産総額（23,340,099千円）に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイ高金利国債債券ファンド（1年決算型）

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年7月22日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>32,309,701円</b>
コール・ローン等	192,176
ニッセイ高金利国債債券マザーファンド(評価額)	32,115,150
未収入金	2,375
<b>(B) 負債</b>	<b>195,625</b>
未払解約金	175
未払信託報酬	193,772
その他未払費用	1,678
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>32,114,076</b>
元本	17,755,862
次期繰越損益金	14,358,214
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>17,755,862口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>18,086円</b>

(注) 期首元本額	20,201,307円
期中追加設定元本額	3,783,130円
期中一部解約元本額	6,228,575円

### 損益の状況

当期 (2021年7月27日~2022年7月22日)

項目	当期
<b>(A) 有価証券売買損益</b>	<b>2,166,004円</b>
売    買    益	2,356,228
売    買    損	△ 190,224
<b>(B) 信託報酬等</b>	<b>△ 398,404</b>
<b>(C) 当期損益金(A+B)</b>	<b>1,767,600</b>
<b>(D) 前期繰越損益金</b>	<b>1,627,140</b>
(分配準備積立金)	( 2,425,489)
(繰越欠損金)	(△ 798,349)
<b>(E) 追加信託差損益金*</b>	<b>10,963,474</b>
(配当等相当額)	( 13,097,631)
(売買損益相当額)	(△ 2,134,157)
<b>(F) 合計(C+D+E)</b>	<b>14,358,214</b>
<b>次期繰越損益金(F)</b>	<b>14,358,214</b>
追加信託差損益金	10,963,474
(配当等相当額)	( 13,104,798)
(売買損益相当額)	(△ 2,141,324)
分配準備積立金	3,394,740

- (注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みません。
- (注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (D)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (E)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

### 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	618,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	351,231円
(c) 信託約款に定める収益調整金	13,104,798円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	2,425,489円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	16,499,538円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	9,292.45円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■運用体制の変更について

運用部門については、CO-CIO（取締役執行役員、統括部長）の2名体制からCIO（取締役執行役員）1名とCO-CIO（統括部長）1名の体制に変更しました。

新たにCIOが就任し、従来のCO-CIOのうちの1名（統括部長）が、引き続きCO-CIOを務めています。

(2022年3月25日)

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年12月1日～2023年7月24日	
運 用 方 針	ニッセイ高金利国債債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、信用力が高く、相対的に高金利の先進国の国債等に実質的に投資することにより、安定した配当等収益の確保および信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ高金利国債債券ファンド（1年決算型）	ニッセイ高金利国債債券マザーファンド受益証券
	ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国の国債、もしくは国債に準ずる債券
運用方法	ニッセイ高金利国債債券ファンド（1年決算型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ高金利国債債券マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。	

# ニッセイ高金利国債券 マザーファンド

## 運用報告書

第 32 期

(計算期間：2022年1月25日～2022年7月22日)

運用方針	<p>①主に F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国の国債、もしくは国債に準ずる債券を投資対象とし、運用を行います。</p> <p>②主に信用力が高く、相対的に高金利の先進国の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	主要運用対象	F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されている国の国債、もしくは国債に準ずる債券
	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>	



ニッセイアセットマネジメント株式会社

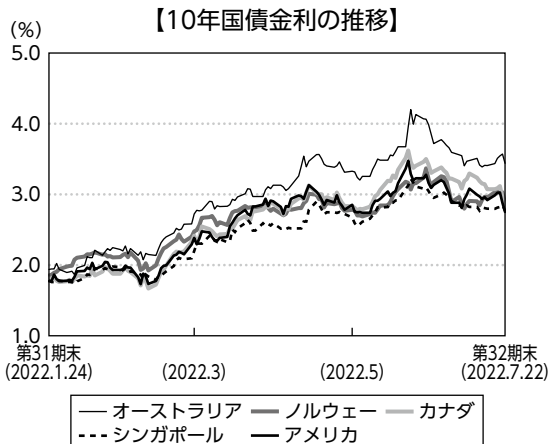
東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2022年1月25日～2022年7月22日

## 投資環境

### 海外債券市況

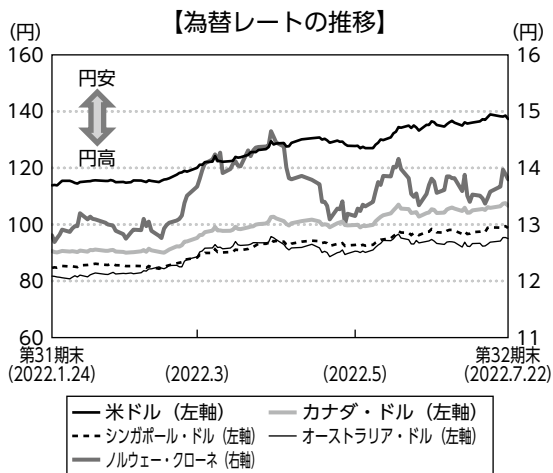


(注) 10年国債金利はブルームバークのデータを使用しています。

投資国10年国債金利は期を通じて見ると、オーストラリア、ノルウェー、シンガポール、アメリカ、カナダともに上昇しました。

期初から6月中旬にかけて、物価上昇懸念を背景に今後の利上げ幅が大きくなるのではないかとの思惑から、主要国の金利は上昇基調となりました。その後、当期末にかけては主要国の急速な利上げとそれに伴う景気減速懸念を受けて、金利は低下しました。

### 為替市況

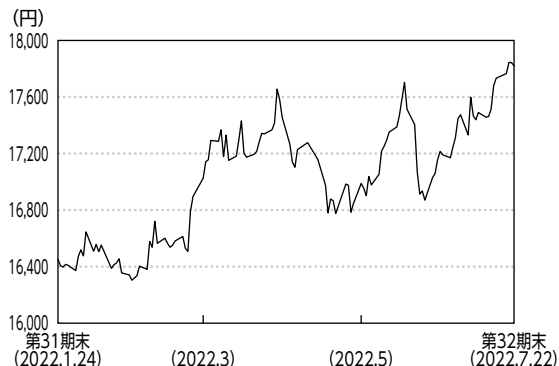


(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

投資国通貨は期を通じて見ると対円で上昇しました。

期初から6月上旬にかけては、主要国中央銀行が利上げを決定した一方で、日銀が大規模金融緩和政策を維持したことから、金融政策の方向性の違いが意識され、投資国通貨は対円で上昇基調となりました。その後、軟調な商品市況や主要国の急速な利上げとそれに伴う景気減速懸念を受けてそれまでの上昇幅を縮小したものの、6月中旬から当期末にかけては日本と主要国中央銀行における金融政策の方向性の違いが改めて意識され、投資国通貨は対円で上昇しました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 3月中旬から4月中旬にかけて、物価上昇懸念を背景に今後の利上げ幅が大きくなるのではないかと  
の思惑から米金利が上昇したことを受けて、米ドル高となり投資国通貨が対円で上昇したこと
- ・ 6月中旬から当期末にかけて、日銀が大規模金融緩和政策の維持を決定したことから、日本と主要国中央銀行における金融政策の方向性の違いが改めて意識され、投資国通貨が対円で上昇したこと

#### <下落要因>

- ・ 4月下旬から5月上旬にかけて、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、0.5%の利上げと保有資産縮小の開始を決定したことを受けて、投資国金利が上昇（債券価格は下落）したこと
- ・ 6月上旬から中旬にかけて、堅調な米経済指標を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが加速するとの見方が広がり、投資国金利が上昇したこと

## ポートフォリオ

FTSE世界国債インデックス（除く日本）に採用されているAAA格相当以上の格付が付与された国の中で、相対的に金利水準の高い3カ国程度の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に留意した運用を行いました。

投資国については、オーストラリア、ノルウェー、シンガポールの3カ国の組み入れでスタートしましたが、相対的な金利水準の変動に伴い4月にノルウェーからアメリカ、シンガポールからカナダに入れ替えました。当期末時点では、組入比率の高い順にオーストラリア（39.1%）、カナダ（30.3%）、アメリカ（29.4%）としています。

また、組入債券の平均格付は期初以降、「AAA格」を継続していましたが5月から「AA格」となりました。

(注1) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注2) 比率は対純資産総額比です。

(注3) 格付は、ムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。



## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは信用力が高く、相対的に金利水準の高い国の国債等を投資対象とし、流動性・投資環境等を考慮して組入国や組入比率の変更を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

F T S E 世界国債インデックス（除く日本）に採用されているA A 格相当以上の格付が付与された国の中で、相対的に金利水準の高い3カ国程度の国債等に分散投資を行い、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努めます。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
28期(2020年7月22日)	16,180	5.8	98.2	27,152
29期(2021年1月22日)	16,383	1.3	98.6	26,342
30期(2021年7月26日)	16,635	1.5	98.3	24,858
31期(2022年1月24日)	16,452	△1.1	98.4	22,732
32期(2022年7月22日)	17,820	8.3	98.8	23,265

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2022年1月24日	16,452	—	98.4
1月末	16,372	△0.5	98.6
2月末	16,381	△0.4	98.5
3月末	17,330	5.3	98.1
4月末	17,228	4.7	98.2
5月末	17,218	4.7	98.5
6月末	17,447	6.0	98.7
(期末)2022年7月22日	17,820	8.3	98.8

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2022年1月25日～2022年7月22日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	1円	0.005%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	1	0.005	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（17,027円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年1月25日～2022年7月22日

公社債

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千米ドル 55,567	千米ドル 4,410
	カナダ	千カナダ・ドル 69,388	千カナダ・ドル 1,045
	オーストラリア	千オーストラリア・ドル 2,511	千オーストラリア・ドル 4,195
	シンガポール	千シンガポール・ドル -	千シンガポール・ドル 75,786
	ノルウェー	千ノルウェー・クローネ -	千ノルウェー・クローネ 489,732
		国債証券	

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) 当マザーファンドが投資しているオーストラリア・ドル建て特殊債券は、州政府が財務公社を通じて発行する債券（州政府債）です。以下同じです。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年1月25日～2022年7月22日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
US TREASURY	1,201,826	SINGAPORE GOVERNMENT	1,414,761
US TREASURY	1,188,805	NORWEGIAN GOVERNMENT	1,343,234
US TREASURY	1,188,449	NORWEGIAN GOVERNMENT	1,298,619
CANADIAN GOVERNMENT	1,160,938	SINGAPORE GOVERNMENT	1,185,501
CANADIAN GOVERNMENT	1,159,868	SINGAPORE GOVERNMENT	1,162,764
CANADIAN GOVERNMENT	1,159,082	NORWEGIAN GOVERNMENT	1,130,406
US TREASURY	960,898	NORWEGIAN GOVERNMENT	1,125,734
US TREASURY	944,454	SINGAPORE GOVERNMENT	961,982
CANADIAN GOVERNMENT	936,825	SINGAPORE GOVERNMENT	956,715
CANADIAN GOVERNMENT	923,325	NORWEGIAN GOVERNMENT	692,199

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイ高金利国債債券マザーファンド

組入有価証券明細表

2022年7月22日現在

外国（外貨建）公社債

区分	額面金額	評価額		当期末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 52,140	千米ドル 49,732	千円 6,830,234	% 29.4	% -	% 15.8	% 9.8	% 3.8
カナダ	千カナダ・ドル 69,600	千カナダ・ドル 66,213	7,060,312	30.3	-	15.1	15.2	-
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 100,530	千オーストラリア・ドル 95,635	9,088,249	39.1	-	19.6	19.5	-
合計	-	-	22,978,795	98.8	-	50.5	44.5	3.8

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千米ドル	千円
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
国債証券	US TREASURY	2.5000	2024/05/15	6,460	6,389	877,474
	US TREASURY	1.5000	2026/08/15	8,640	8,123	1,115,646
	US TREASURY	1.8750	2027/02/28	8,940	8,502	1,167,717
	US TREASURY	1.7500	2029/11/15	9,010	8,318	1,142,398
	US TREASURY	1.8750	2032/02/15	6,930	6,332	869,676
	US TREASURY	5.0000	2037/05/15	2,840	3,555	488,376
	US TREASURY	3.1250	2042/02/15	3,560	3,453	474,296
	US TREASURY	2.8750	2046/11/15	2,730	2,519	346,067
	US TREASURY	2.2500	2052/02/15	3,030	2,538	348,579
	小計	-	-	-	-	6,830,234
カナダ				千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	
国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	0.7500	2024/10/01	11,510	10,932	1,165,773
	CANADIAN GOVERNMENT	0.2500	2026/03/01	12,290	11,126	1,186,471
	CANADIAN GOVERNMENT	1.2500	2027/03/01	12,010	11,109	1,184,566
	CANADIAN GOVERNMENT	2.2500	2029/12/01	9,350	8,920	951,238
	CANADIAN GOVERNMENT	1.5000	2031/12/01	10,240	9,015	961,290
	CANADIAN GOVERNMENT	5.0000	2037/06/01	3,560	4,389	468,050
	CANADIAN GOVERNMENT	4.0000	2041/06/01	3,810	4,340	462,864
	CANADIAN GOVERNMENT	3.5000	2045/12/01	2,970	3,223	343,708
	CANADIAN GOVERNMENT	2.0000	2051/12/01	3,860	3,154	336,348
	小計	-	-	-	-	7,060,312
オーストラリア				千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	
国債証券 特殊債券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	3.0000	2047/03/21	2,610	2,278	216,563
	NEW S WALES TREASURY CRP	4.0000	2026/05/20	16,030	16,198	1,539,371
	NEW S WALES TREASURY CRP	3.5000	2034/03/20	8,270	7,656	727,592
	TREASURY CORP VICTORIA	5.5000	2024/12/17	13,980	14,667	1,393,816
	TREASURY CORP VICTORIA	5.5000	2026/11/17	15,760	16,875	1,603,723
	TREASURY CORP VICTORIA	1.5000	2030/11/20	23,250	19,081	1,813,293
	TREASURY CORP VICTORIA	4.2500	2032/12/20	11,770	11,817	1,123,010
	TREASURY CORP VICTORIA	2.2500	2034/11/20	8,860	7,059	670,878
		小計	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-	22,978,795

# ニッセイ高金利国債債券マザーファンド

## 投資信託財産の構成

2022年7月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	22,978,795	98.5
コール・ローン等、その他	361,303	1.5
投資信託財産総額	23,340,099	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル137.34円、1カナダ・ドル106.63円、1オーストラリア・ドル95.03円、1ユーロ140.13円です。

(注2) 外貨建純資産 (23,168,854千円) の投資信託財産総額 (23,340,099千円) に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年7月22日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>23,340,099,442円</b>
コール・ローン等	231,584,735
公社債(評価額)	22,978,795,501
未収利息	114,560,642
前払費用	15,158,564
<b>(B) 負債</b>	<b>74,539,927</b>
未払解約金	74,539,672
その他未払費用	255
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>23,265,559,515</b>
元本	13,055,724,649
次期繰越損益金	10,209,834,866
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>13,055,724,649口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	17,820円

(注1) 期首元本額 13,817,302,661円

期中追加設定元本額 48,671,363円

期中一部解約元本額 810,249,375円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ高金利国債債券ファンド 12,204,134,163円

ニッセイ高金利国債債券ファンド (適格機関投資家限定)

833,568,516円

ニッセイ高金利国債債券ファンド (1年決算型) 18,021,970円

## 損益の状況

当期 (2022年1月25日~2022年7月22日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>317,614,737円</b>
受取利息	317,636,636
その他収益金	9,288
支払利息	△ 31,187
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,517,371,580</b>
売買益	3,884,079,792
売買損	△ 2,366,708,212
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,180,102</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>1,833,806,215</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>8,914,700,953</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>33,670,983</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 572,343,285</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>10,209,834,866</b>
次期繰越損益金(H)	10,209,834,866

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。